

地域福祉メッセージをお届けします。 ～民生委員・地域の方から～

あなたからのメッセージや絵・写真など募集しています。
地域のひとり暮らし高齢者などに配っています。
FAX:055-986-3794 メール:bureau@nagaizumi-shakyo.jpまで

こんにちは、私75歳の誕生日を迎え、後期高齢者の仲間入りをしますが、嫌な言葉ですよね『後期高齢者』って、私を含めてみなさんも元気高齢者でい続けてもらいたい。そこで元気でいられる秘訣を一つ、若い人と接すること、近所の子供たちとの何気ない触れ合いで楽しい発見がありました。

ナゾナゾです、固くなった脳みそを刺激し、一生懸命に考えて、教えてもらった答えに大爆笑それが仲間づくりにも一役、会話も弾みます。

では簡単な例題を2つ

① 世界の真ん中にある虫は何
② 1日に2回あるのに1年に1回しかないのは

※ヒント ひらがなで書いてみて 答①蚊 ②ち

「明るい場所を一人で歩くより、たとえ暗闇でも仲間と一緒に歩きたい」

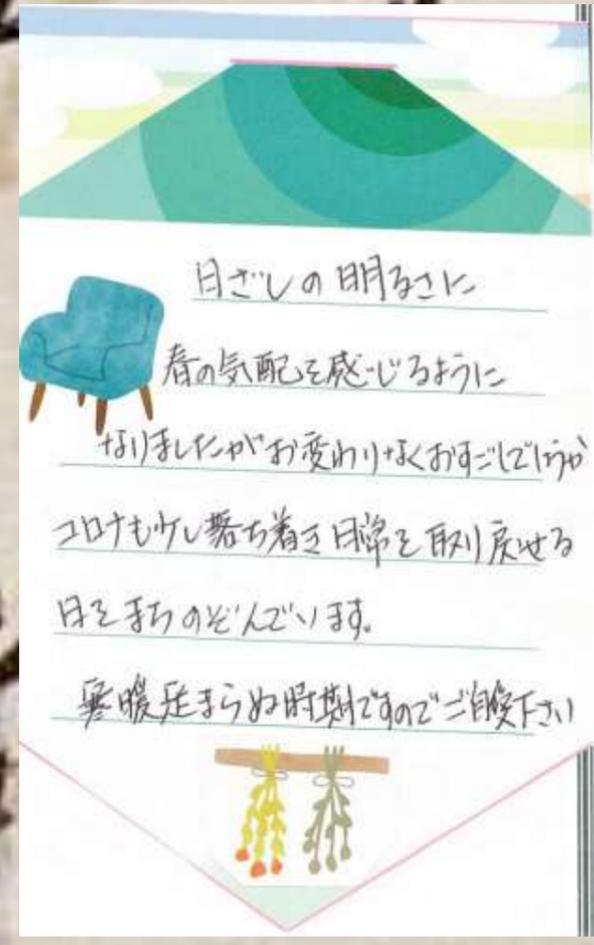
先日、私の先輩から次のような場面があったという話を聞き、ほっこりとした気分になりました。

先輩「あれ、マスクがない。さっきまで持っていたのに……。」
先輩の友人「あごの下。」

お互いに笑いながらも、先輩はちょっと情けない状況になりました。しかし、先輩は後で少し考えました。一人である時にもこのような状況がありましたが、その時は笑いもしませんでした。友人と一緒にだったので、笑い話になり笑顔でいられたのです。

仲間とつながるといことは本当に大切なことですね。

もうじき3月ですね。春の足音、桜の便りも4ラホラ。3月生まれの子供たちにとって楽しみなのかな。下土守の椎背神社の祭典です。露右や舞殿での催物。椎見行列など。コロナ以前は賑やかでしたが今年はどうでしょうか？ 植木市など出ていて買ってきて移植したとしても数年後実を付け嬉しかったの思い出します。皆さんの地元でも神社の祭典以外にも地区の納涼祭だとか色んな催し物があり楽しみのひとつでしょうね。そんなイベントが数多く開催され顔なじみの方々とふれあえる様になって欲しいですね。



小さきものが、なぜか愛おしく思える。

昨年今頃、信号待ちをしている時の出来事。

いかにも雑壇から降りてきた様な、凛とした若武者がいた。「入学おめでとう」、見知らぬ子供に声掛けをした。母親が「入園なんです」と訂正してくれた。今度は子供が「じいじ、信号を渡るときは手を上げるんだよ、わかった?」。手を上げてつづいた。母親がクスッと笑いながら「すみません」と言った。

今頃はピカピカの一年生?。ランドセルの雄姿を見たい。

憧れの香具山登り 国見気どり
畝傍山さし 妻に教えり(奈良・天香具山にて)

万葉集にうたわれた天香具山を訪ねました。持統天皇や舒明天皇の歌を思い浮かべながら、いにしえの人々の生活ぶりを想像しました。妻とのドライブ旅行もいつまでできることやら。健康に留意してお過ごしください。

この活動は『赤い羽根共同募金』の助成を受けて実施しています